

回収された資源物はどう役立つの?!



拠点回収等を集まった資源物はどんなことに使われるのでしょうか。資源物を持ち込むときは、どんな注意が必要でしょうか。

古着

- ◆名前入り可、ボタンもそのまま。
- ◆ダウンは可、綿入りは虫食いのおそれがあり、出せません。



食器類

- ◆木製・プラスチック製は傷が付きやすく不衛生なため、出せません。



かばん・ベルト

- ◆圧縮梱包して送られるため、スーツケース等硬いものは壊れるおそれがあり、出せません。



くつ

- ◆地雷等で片足を失なった方のため、半足でも可。
- ◆長靴等は需要が少なく、出せません。



- ★以上はいずれも、アフリカ、インド、ヨーロッパ等に送られ、そのまま再使用されます。
- ★古着、かばん・ベルト、くつは、濡れないよう透明(半透明)の袋に入れ、口をしぼって。
- ★食器類は、壊れないよう新聞紙等で包み、箱に入れて出してください。

古布(4品目)

アフリカ、インド、ヨーロッパ等に送られ、タオル、タオルケット、シーツは工業用油ふき布に、毛布は梱包用資材として再使用されます。



- ◆古着と同じように出してください。

小型家電

解体し、希少金属を中心に国内で再資源化されます。壊れていてもかまいません。



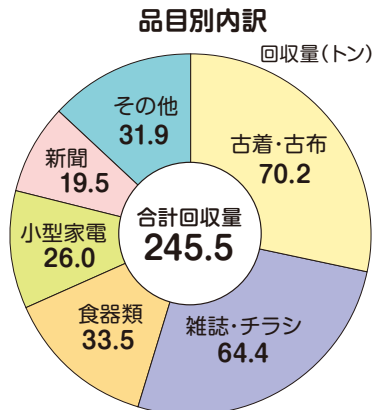
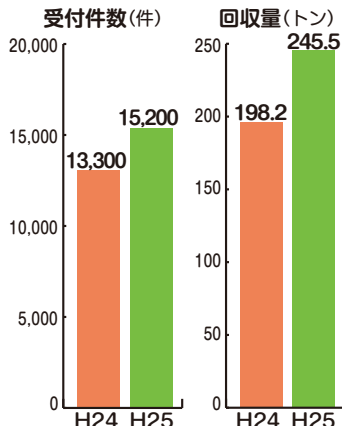
- ◆50cm角以内の大きさを目安に出してください。

- ★古着・古布のステーション収集は、1月から3月まで休みます。
- ★資源物拠点回収の詳細は、前号 (Vol.29) の“ながおかのごみ改革”をご覧ください。

拠点回収、飛躍的に伸びています



平成24・25年度(4月～10月)の比較 平成25年度(4月～10月)



昨年の同じ時期と比べると、件数で15%、回収量で24%増加しています。分別意識が高まり、これまで廃棄していたものが、資源物に回った結果だと思われます。

平成24年度の回収量は合計約307トン、25年度合計は377トン(23%増)と見込んでいます。

まだ使える物、役立つ物はごみにせず、拠点回収をご利用ください。